



足羽川ダムの  
治水の要!

## 最大で約2,870万m<sup>3</sup>もの 貯水量を支える放流ゲート設備を設置中!!

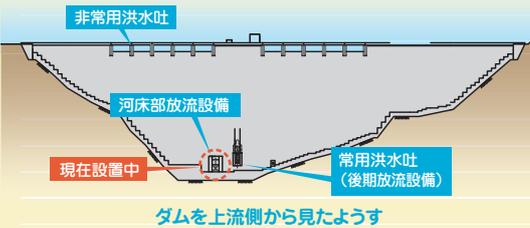
令和4年10月25日にダム本体のコンクリート打設が始まり、  
いよいよ洪水を調節する放流設備を現場に設置しています。

足羽川ダムでは、大雨が降ると下流に流す水の量を調節し、洪水被害を低減するために「河床部放流設備」「常用洪水吐」を設置します。このゲートはダム運用時にそれぞれ役割があり、コンクリート打設の進捗に合わせ所定の位置・高さへ設置します。現在、ダム本体の一番下に設置される「河床部放流設備」の工事に取り掛かっています。この設備は普段は部子川が流れる部分（河道）となり、洪水調節が始まればダム本体に組み込まれたゲートを閉め、総貯水量約2,870万m<sup>3</sup>を支える重要な設備です。今号では、設置が着々と進む河床部放流設備についてご紹介します。



### 解説! 足羽川ダム

#### 足羽川ダムに設置される放流設備



#### 河床部 放流設備

かしょうぶほうりゅうせつび

足羽川ダムの一番下には2門のゲートを取り付けた「河床部放流設備」を設置します。普段は水を貯めず、大雨の時にはゲートを閉めることによって上流側に水を貯めていきます。

#### 常用洪水吐 (後期放流設備)

じょうようこうずいばき

ダムに流れ込む洪水に対して、ダムがあふれたり壊れたりしないように貯水量を調節するための設備となります。洪水調節として常用洪水吐と非常用洪水吐があります。

#### 非常用洪水吐

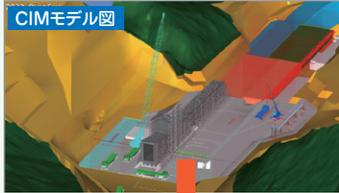
ひじょうようこうずいばき

洪水時に貯めることのできる最高水位（洪水時最高水位）を上回る量の洪水がダムに流れ込んだ時、想定外の部分から溢れ出すとダムが壊れるおそれがあります。そのため、貯めきれない水はダムの上部の非常用洪水吐から越流させることにより、ダムの安全を確保します。

### 設置前に、3次元でシミュレート

3次元のCIMモデルを用い、施工ステップのシミュレーションを行い効率的かつ安全に作業を進めています。重機の配置もモデル化し、各工事との施工調整に役立っています。

CIMモデル図



CIMモデルとは

構造物等を3次元の立体形状で表した「3次元モデル」に、「属性情報」と「参照資料」を組み合わせた情報モデル全体を指します。

放流設備上流側の流入部分。放流設備内は流れ込む土砂による摩耗を防止するため鋼製になっています。

令和5年2月時点



### 工場検査を経て現場へ

放流設備は、専門の工場で作成した特注品を分解し現場へ運搬されます。設計通りの規格で水漏れがないか検査を受け、合格すれば現場へ納品となります。



河床部放流設備のゲート(主・副)を取り付けます。

工場検査(仮組立時)



### 現場 見学会

実施期間 5月12日～11月末の第2土曜日及び第4水曜日(午前10時～12時)

申込方法 足羽川ダム工事事務所 <https://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/about/index12.php>

受付は見学の1ヶ月前から事前予約制。令和5年度は4月10日より受付開始。足羽川ダム工事事務所ホームページよりお申込みください。

### 自由見学

「ダム本体建設工事展望台」及び「ダムギャラリーあすわ」

開館日 5月12日～11月30日(平日9時～16時)

休館日 日曜日・祝祭日・お盆期間(8/11～16)、冬期間(12月～4月)

ご案内

令和5年度(2023年)  
足羽川ダム現場見学会

# 環境保全措置を施し、ダム建設工事は進められています

足羽川ダムでは、事業による環境への影響を極力小さくし、豊かな自然を維持していくために、「環境影響評価（環境アセスメント）」\*1を実施し、環境影響評価書を作成しました。評価書を基に、事業に伴う環境への影響の予測・評価を行うとともに環境保全対策を行っています。



## 1 クマタカの繁殖活動を確認。一時工事を見合わせて、雛の成長を見届けました

足羽川ダムの事業区域では、環境省のレッドリストで絶滅危惧種指定のクマタカが生息しており、繁殖を阻害しないように環境保全対策を講じながら工事を進めています。2022（R4）年には、工事現場のすぐ近くでクマタカの繁殖活動が確認されました。そのことを環境モニタリング委員\*2に相談したところ、雛の状態に応じて大きな音が出る作業を控えるようにと助言を頂き、大型の機械を使う作業を9日間見合わせました。その後も巣の近くに取り付けた小型カメラで雛のようすを確認しながら、育雛（子育て）に影響のないように作業を進め、順調に成長した雛は夏になると無事に巣立っていきました。



ビデオ映像で雛を初確認。巣の中では雛の成鳥が雛を温めている



羽ばたきを練習する雛



幼鳥の枝うつりを確認

### クマタカ繁殖における工事対策

- CCDカメラによるクマタカの巣の監視
- 工事関係者へ状況の周知徹底
- 音が反響する栈橋上作業は重機の下に廃タイヤを配置して騒音低減実施
- アイドリングストップを心掛け、騒音抑制を実施

## 植物監視

## 2 希少植物の保全にも着手しています

環境影響評価書で11種の植物の環境保全措置の実施が定められ、対象種は監視を行い、工事による改変の影響が大きい種については、移植を行っています。移植後も生育状況をモニタリングし環境保全を維持しています。

### ミヤマタゴボウの移植



### \*1 環境影響評価（環境アセスメント）とは？

建設事業の工事内容を定める時、工事が環境にどのような影響を及ぼすかについて調査・予測・評価を行い、その結果を公表して地域住民、地方公共団体などから意見を聴き、それらを踏まえて環境の保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていこうという制度です。

足羽川ダムでは、地域の方々、福井県、国土交通大臣からの意見を整理した「環境影響評価書」を作成し、それを基に工事を進めています。

### \*2 環境モニタリング委員会とは？

足羽川ダムでは平成25年度に学識者等で構成される「足羽川ダム環境モニタリング委員会」を設置。委員の指導・助言を頂きながら、環境保全に最大限配慮し事業を進めています。

詳しい情報は  
こちらへ



詳しく足羽川ダムの事業進捗を知りたい方はここまで！

足羽川ダム 事業の進捗状況

channel Asuwagawa

足羽川ダム工事現場の動画がご覧いただけます！

足羽川ダム YouTube

足羽川ダム事業進捗

channel Asuwagawa



【共同発行元】国土交通省近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所  
福井県土木部河川課 ダム建設管理・足羽川ダム対策グループ

【お問い合わせ先】〒918-8239 福井市成和1-2111 ポラリスビル TEL (0776) 27-0642(代) FAX (0776) 27-0643  
https://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/ (足羽川ダム計画は、ホームページでもご紹介しています。)